

1 1 組同級会開催す！

紅葉の真っ只中の11月9日（木）に善光寺参りの後、長野駅前のホテルメトロポリタン 12F 「リンドウの間」にて、18時から恩師上原孝先生と女性3人、久振りの参加者（松村久君）を含め18名が参集して11組の同級会を開催した。今回は幹事の粋な計らいで畳部屋に西洋椅子と言う先生や70歳に近い参加者の体調を思いやつての心遣いに一同感謝した。2年振りに再会した上原先生は80歳を過ぎておられ白髪だがまだ見た目には若々しく、私共と11歳違ひとは第三者には分からないだろうと感じた。

幹事が物故者3名（栗山達雄君、後藤幸三君、小泉浩三君）の紹介をしたのち、ご冥福を祈っての一同1分間の黙祷をして、同級会が始まった。先生から遠くに座った者から「自己紹介と近況報告」を順次行ったが、今回も詳細は割愛する。

但し、今回の特筆すべき内容を3点に絞り下記する。

- ① 同級生の一人が昨年発病して一時重病となったが、今年4月に運よく退院でき、現在自宅療養中である。幹事の提案で「早い快復」を祈って「色紙に励ましの言葉」を先生と参加者で認めて贈ることとした。
- ② 上原先生曰く「11組は団塊世代の付け足しのクラスで纏まりが全くなかった。あの頃部活などに入れ込んであまりクラスに顔を出さなかった面々が11組の同級会の中心メンバーになっているのが何故か面白いな。」と。
- ③ また、序でながら、先生からの「出来の良かったのも悪かったのも皆好きだった」と言う感慨のあと、今日参加した「出来の悪いの」が「コツコツと頑張っって年々着実に進歩を遂げている点に感心している」くだけり。これに対し、ブーイングと異論が続出した。やっかみか？

約3時間の同級会はあっという間に過ぎ去って、21時近くなったため、記念撮影をした後、恒例の田中君が応援団エールで「校歌斉唱と一本締め」で盛り上げた。次回は上田（幹事：中村君、福沢君）か東京（幹事：深町君、岡田君）で2年後開催することを約し、名残惜しくも散会となった。

下記は、当日の状況を即興で創句したので、御笑覧あれ。

- 信濃路や友集ひ来て秋の暮
- 同級会ひとりひとりの秋日和
- 気持ち良き人と語らひ秋惜しむ

（関東同窓会65期11組クラス副幹事。中山正光記）

次ページに集合写真



前列左から、清水公男、村田政夫、倉沢勝弘、田中建一、上原孝先生、高津（志摩）律子、
菊地（守田）暁子、米山（藤原）純子
後列左から、中山正光、福沢源一郎、松村久、荻久保一男、丸山敏明、村岡篤史、山岸敏
夫、中村良一、岡田修、松木（中沢）富美雄